

ジェンダーについて考えてみよう!!

「ジェンダー」って何？

ジェンダー(gender)とは、生物学的な性別(sex)に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指しています。世の中の男性と女性の役割等の違いによって生まれる性別のことです。

例えば、「料理は女性がやるもの」と考えていませんか？料理＝女性の仕事など。でも、男性でも料理上手な人がいますよね。一人ひとりの個性を大切にするために、男はこうあるべき、女はこうあるべきという考え方を見直してみませんか？

ジェンダーを意識して世の中を見てみると、いろんな「？」が見えてくるかもしれません。

過去最低を更新!「世界の男女格差ランキング2019」

2019年12月17日、世界経済フォーラム(WEF)より、男女格差の大きさを国別比較した「ジェンダー・ギャップ指数」が発表されました。これは、「経済・教育・健康・政治」の4分野のデータから、各国の男女の格差を分析した指数をランキングにして、毎年公表しているものです。

今回日本は121位。これは過去最低だった2017年の114位よりさらに下位となり、依然としてG7(主要7カ国)の中では最下位です。

ランキング ベスト5	
1位	アイルランド
2位	ノルウェー
3位	フィンランド
4位	スウェーデン
5位	ニカラグア

💡ここがポイント

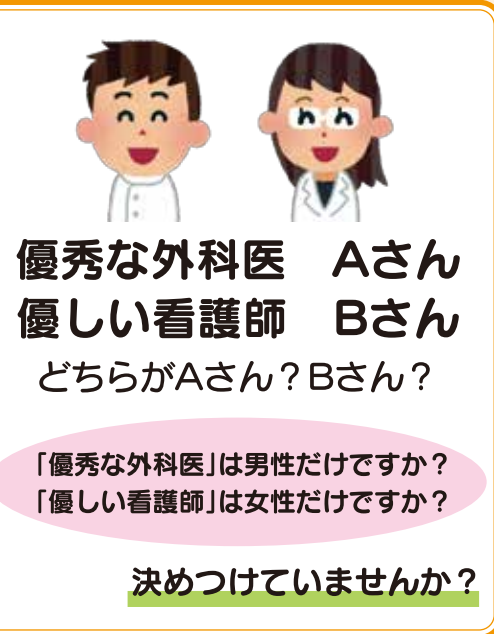
日本が例年、低い順位にとどまっている主な理由は、経済と政治の分野が非常に低いことが影響しています。今回もこの傾向は改善されることなく、経済は115位、政治は144位でした。

そして今回、教育の分野が昨年の65位から91位と下降したことも、順位を下げた要因となっています。

暮らしの中での男女共同参画

◆一人ひとりの個性や夢を大切に

一人ひとりの個性や夢は性別によって左右されるものではありません。大切なのはそれぞれの個性を伸ばし、自分らしさを発揮できるようにすることです。一人ひとりが大切にされ個性と能力を発揮できるよう、互いの理解と協力が必要です。



【発行】
大牟田市男女共同参画センター
〒836-0862 大牟田市原山町13-3
(中央地区公民館内)
TEL 0944-41-2611
FAX 0944-41-2869



大牟田市では、「第3次おおむた男女共同参画プラン」(平成30年3月策定)のもと、「男女が生き生きと暮らすまちの実現」を目指して、この中で掲げた様々な取り組みを実施しています。

Rainbow

大牟田市男女共同参画センターだより

No.42

2020年3月 発行
大牟田市男女共同参画センター

今回は、DV(配偶者等からの暴力)についてみなさんと一緒に考えてみましょう。
DVとはドメスティック・バイオレンスの略で、暴力で相手を支配することを意味します。
デートDVは、交際相手との間で起こる暴力のことで、大人だけでなく、若者の間でも起こっている深刻な問題です。あなたの近くにDVやデートDVで悩んでいる人はいませんか？
自分のこと、相手のこと、見つめ直してみませんか？

✓DVチェックリスト 二人の関係大丈夫？

こんなこと、されてない？

- ☐ 気に入らないことがあると、殴られたり、蹴られたり、無視されたりする。
- ☐ 他の友達と話したり、仲良くしたりすると責められる。
- ☐ スマホや携帯電話をチェックして、他の人のメールやアドレスを消される。
- ☐ 「バカ」や「ブス」など傷つく言い方をされる。
- ☐ 無理やりキスや性行為を求められる。

こんなこと、してない？

- ☐ 気に入らないことがあると、相手のせいにする。
- ☐ 腹がたつと、相手の目の前で、物を叩いたり、大きな声を出したりする。
- ☐ 他の友達との付き合いを制限する。
- ☐ スマホや携帯電話をチェックして、勝手に他の人のアドレスを消す。
- ☐ デートの費用をいつも負担させる。

該当する項目があったら、それは「DV」・「デートDV」かもしれません。
二人の関係を見つめ直してみましょう。

パープルリボン運動を知っていますか？

毎年11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。
今年度は市役所玄関ロビーに設置した「パープルリボンツリー」に、たくさんのリボンをかけていただきました。

配偶者からの暴力、売買春、人身取引、セクシュアハラメント、ストーカー行為、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で、克服すべき重要な課題です。

「パープルリボン運動」は、1994年にアメリカで始まった女性に対する暴力根絶の運動で、「パープルリボン」には、女性に対する暴力をなくしていこうというメッセージが込められています。



じゃー坊も内閣府のパープルリボン運動に参加しています。

2019年度の取り組みを報告します

男女共同参画週間事業 男性料理教室
「お料理男子!!」～おいしい笑顔を増やしませんか?～
令和元年7月15日(月) 会場 えるる

6月23日から29日までの男女共同参画週間にあわせて、7月15日に「えるる」(大牟田市市民活動等多目的施設)で、テレビでおなじみのけんちゃん先生こと、嘉村健志さんを講師に迎え、「初心者向け男性料理教室」を開催しました。

この料理教室は、「家事は女性の仕事…」そんな性別による固定的役割分担意識の解消や、ワーク・ライフ・バランスの推進を目指すことを目的に企画しました。

けんちゃん先生の楽しいトークの中、参加者の皆さんは、慣れないながらも、楽しそうに料理に取り組んでいました。



講師 嘉村健志さん(管理栄養士)



～参加者の感想より～

- 先生が親しみやすく、とても楽しい時間になりました。託児がとても助かりました。
- シンプルだけど、すごくおいしい料理を協力して作れてうれしかったです。
- 簡単においしくでき、家でもぜひ作ってみたいです。
- 楽しかったです。これを機に料理を頑張りたいです。けんちゃん先生、ありがとうございました。
- これから料理、洗濯など自立した男になれるようにしたいと思いました。



今回は、参加者20人全員が、男女共同参画事業に「初めて」参加するという方々でした。年齢性別を問わず、意識啓発につながったのではないかと思います。これからも男女共同参画社会の実現に向けて、正確な知識を持ち、理解を深めるための学習の機会を提供していきます。

「女性に対する暴力をなくす運動」啓発事業 DV防止講演会
これってDV!? ～夫婦間、恋人間の暴力～
令和元年11月17日(日) 会場 中央地区公民館

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、11月17日に中央地区公民館でNPO法人福岡ジェンダー研究所理事の倉富史枝さんを講師に迎え、DV防止講演会を開催しました。

2時間ほどの講演会のなかでは、参加者の皆さんがグループに分かれ、DVについて意見を出し合ったり、デートDVについての寸劇を見て考えたりするなどの時間があり、大変わかりやすい内容でした。

参加者からは、「自分はDVの被害はないが、誰かの相談に乗ることがあるかもしれないので、アンテナを張っていたい」という感想などが聞かれました。



講師 倉富史枝さん

【内閣府・男女間における暴力に関する調査・平成29年12月実施】

- 交際相手からの暴力の被害経験
女性の約5人に1人、男性の約9人に1人は、交際相手から被害を受けたことがある。
- 同居する交際相手からの暴力の被害経験
女性の約6割、男性の約3割は、同居(同棲)期間中に被害を受けたことがある。
- 交際相手からの暴力の相談件数
被害を受けた女性の約4割、男性の半数は、どこにも相談していない。

相 談 窓 口

大牟田市男女共同参画センター 女性相談電話	☎ 0944-43-1012	月～金曜日 8:30～17:15 ※祝日・年末年始を除く
大牟田警察署(生活安全課)	☎ 0944-43-0110	24時間受付
福岡県あすばる相談 ホットライン	☎ 092-584-1266	月～日曜日 9:00～17:00 金曜日(祝日除く)のみ18:00～20:30も可 ※8月13日～15日・年末年始を除く
福岡県配偶者からの 暴力相談電話	☎ 092-663-8724	月～金曜日 17:00～24:00 土・日・祝 9:00～24:00 ※年末年始を除く
男性DV被害者のための 相談ホットライン	☎ 092-571-1462	水・木曜日 17:00～20:00 金曜日 12:00～16:00 ※祝日・年末年始を除く
LGBTの方のDV被害者 相談ホットライン	☎ 080-2701-5461	第2火曜日 12:00～16:00 第4火曜日 17:00～20:00 ※祝日・年末年始を除く